

佳作

お空へ行ったおじいちゃん

滋賀県 野洲市立野洲小学校二年 堤 日和梨

わたしのおじいちゃんが、いなくなりました。おじいちゃんはずっと前からびょういんにいました。わたしは、いつもびょういんに行っていました。おじいちゃんは、ごはんも食べられなくなっていました。わたしは、わたしは、なん回も手をつなぎました。そのあとおじいちゃんが、いきをしないのに気づきました。それで、かんごしさんをよびました。

そのあとおじいちゃんを、みんなでおふろに入れました。そして、わたしたちはかえりました。つぎのよる、おじいちゃんのおつやがひらかれました。おじいちゃんは大きなはこの中に入っていました。おとうさんのしんせきがきていました。おぼうさんがおきょうを読んできました。おぼうさんがおきょうを読んではるときわたしたちが、おしこうこうをばらばらとまきました。手をあわせておじいちゃん

に「ありがとう」とつたえました。おとうさんのしんせきの人たちが、わたしをだいにしてくれて、やさしくしてくれたことが、うれしかったです。つぎの日には、おそうしきがありました。おじいちゃんとおわかれの日です。大きなはこの中にお花をいれました。わたしがおじいちゃんにプレゼントした絵やキーホルダーが入っていました。さいごのおわかれにおばあちゃんがみんなにあいさつをしました。おばあちゃんはすぐくなくていきました。わたしもおばあちゃんのよこでなきました。わたしは木のふだをもってバスにのりました。そしてかそうばに行きました。二時間ぐらいまっておじいちゃんが出てきました。ほねになつてしまつたおじいちゃんを見てとてもかなしかったです。木のおはしでほねをひろいました。そのときとてもショックでした。おじいちゃんのほねは、つぼの中に入れてもらつてかえりました。さいごにみんなでごはんを食べました。わたしはおじいちゃんがいなくなったことで、いろいろなことを考えました。生きているものは、いつかいのちがなくなることがわかりました。しぬということとは、こわいけれど今じぶんは、生きているってことをしあわせに思いました。これからのちをた

いせつにしたいと思いました。おじいちゃんありがとう。
どう。これからもお空でみまもってください。